

1 合同(1)

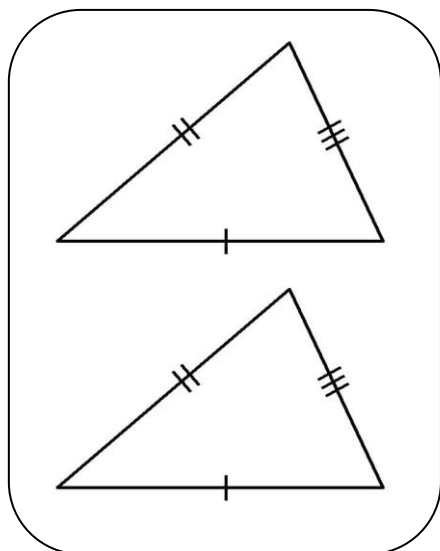
攻略法 1

★ まず、合同条件をきちんと暗記しよう！

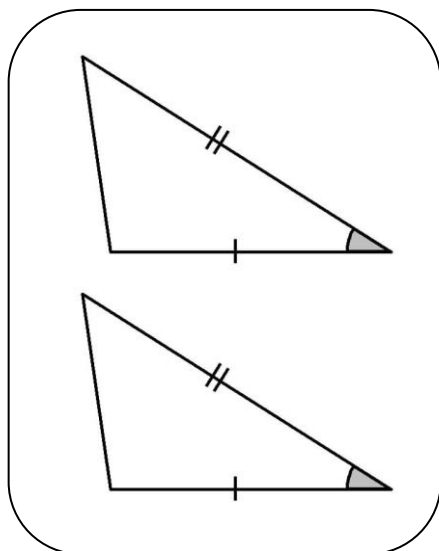
- ① 3組の辺がそれぞれ等しい。
- ② 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい。
- ③ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい。

(合同条件は教科書によって表現が少し異なります。教科書どおりに覚えていれば、これを暗記する必要はありません。)

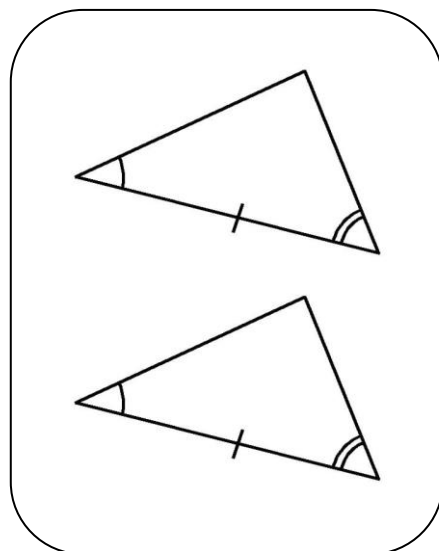
①



②



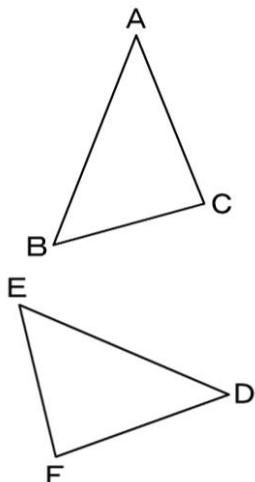
③



攻略法 2

①②③ ①②③

$\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ ならば、アルファベット順に対応している。



角

辺

②①③ ②①③

$$\angle BAC = \angle EDF$$

①③② ①③②

$$\angle ACB = \angle DFE$$

①②③ ①②③

$$\angle ABC = \angle DEF$$

①② ①②

$$AB = DE$$

①③ ①③

$$AC = DF$$

②③ ②③

$$BC = EF$$

1 合同(2) 「部分証明」

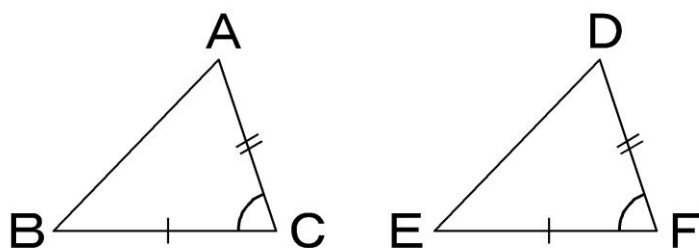
攻略法3

部分証明ならば、対応順に書けばOK!

実践問題1

下の図の $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ で、同じ印をつけた辺や角が等しいとき、 $AB=DE$ である。これを次のように証明した。

をうめなさい。



〔証明〕

$\triangle ABC$ と で,

仮定より, $BC =$ ①

仮定より, $CA =$ ②

仮定より, $\angle C =$ ③

①, ②, ③より,

がそれぞれ等しいから,

$\triangle ABC \equiv$

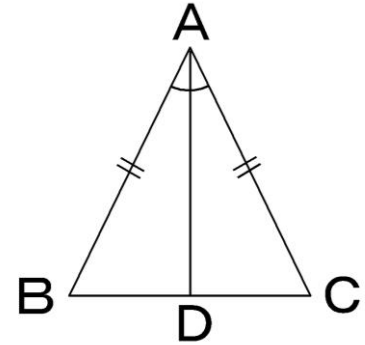
合同な三角形の対応する は等しいから,

$AB =$

1 合同(3) 「部分証明」

実践問題2

右の図の $\triangle ABC$ で、 $AB=AC$ 、 $\angle BAD=\angle CAD$ ならば、 $BD=CD$ である。これを証明しなさい。



〔証明〕

$\triangle DBA$ と で,

仮定より、 $AB =$ ①

仮定より、 $\angle BAD =$ ②

共通だから、 $AD =$ ③

①, ②, ③より,

がそれぞれ等しいから,

$\triangle DBA \equiv$

合同な三角形の対応する は等しいから,

$BD =$

1 合同(4) 「部分証明」

※ 「中点」という言葉があったら等しい辺があるぞ！

実践問題3

右の図でOは線分ABの中点で、 $AP=BP$ である。 $\angle AOP = \angle BOP$ であることを証明しなさい。

〔証明〕

$\triangle AOP$ と で,

仮定より, $AO =$ ①

仮定より, $AP =$ ②

だから, $PO =$ ③

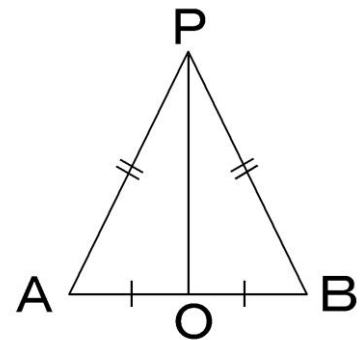
①, ②, ③より,

がそれぞれ等しいから,

$\triangle AOP \equiv$

合同な三角形の対応する は等しいから,

$\angle AOP =$

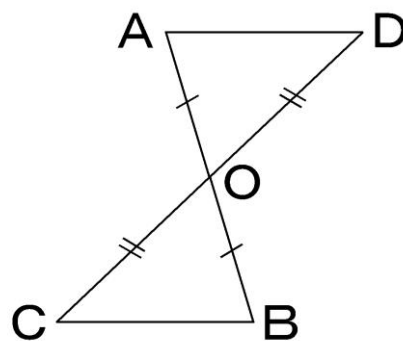


1 合同(5) 「部分証明」

※ ✕ (リボン) には対頂角があるぞ！

実践問題4

右の図で、 $AO=BO$ 、 $CO=DO$ ならば、 $AD=BC$ である。これを次のように証明した。□にあてはまるものを入れなさい。



〔証明〕

$\triangle ADO$ と $\triangle BCO$ で、

仮定より、 $AO = \square$ …①

$DO = \square$ …②

\square 角は等しいから、

$\angle AOD = \square$ …③

①, ②, ③より、

\square がそれぞれ等しいから、

$\triangle ADO \equiv \square$

合同な三角形の対応する \square は等しいから、

$AD = \square$

1 合同(6) 「部分証明」

※ 「平行」だったら錯角・同位角が等しいぞ！

実践問題5

右の図で、 $l \parallel m$ 、 $AB=CD$ のとき、 $AO=DO$ であることを、次の
をうめて証明しなさい。

〔仮定〕 $l \parallel m$ 、 $AB=CD$

〔結論〕 $AO=DO$

〔証明〕

$\triangle AOB$ と $\triangle DOC$ で、

仮定から、 $AB=DC$ ……①

仮定から、 $l \parallel m$ で、平行線の は等しいから、

$\angle BAO =$ ……②

$\angle ABO =$ ……③

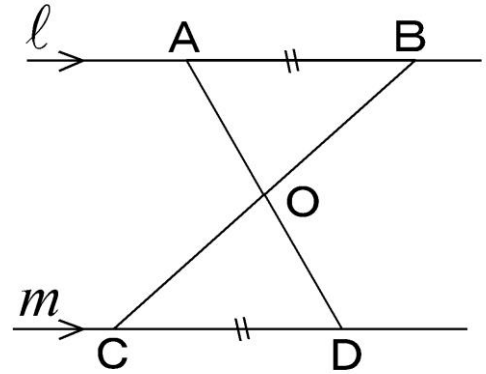
①、②、③より、

がそれぞれ等しいから、

$\triangle AOB \equiv \triangle DOC$

合同な三角形の は等しいから、

$AO=DO$

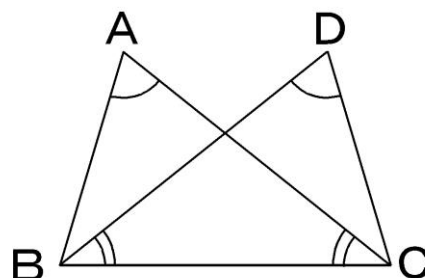


1 合同(7) 「部分証明」

※ 三角形の2つの角が等しければ残りの角も等しいぞ！

実践問題6

右の図で、 $\angle BAC = \angle CDB$, $\angle ACB = \angle DBC$ ならば、 $AC = DB$ である。これを次のように証明した。□にあてはまるものを入れなさい。



〔証明〕

$\triangle ACB$ と $\triangle DBC$ で、

共通だから、 $BC =$ □①

三角形の内角の和は 180° だから、

$\angle ABC = 180^\circ - \angle BAC - \angle ACB$ ②

$\angle DCB = 180^\circ - \angle CDB -$ □③

仮定より、 $\angle BAC =$ □④

仮定より、 $\angle ACB =$ □⑤

②, ③, ④, ⑤から、

$\angle ABC =$ □⑥

①, ⑤, ⑥から、

□ がそれぞれ等しいから、

$\triangle ACB \equiv \triangle DBC$

合同な三角形の対応する辺は等しいから、

$AC =$ □

1 合同(8) 「完全証明」

※ 必ず仮定は2つある。あと1つを見つければOK！

例題1 右の図で $AB=CB$, $\angle A=\angle C$ ならば, $AE=CD$ である。これについて, 次の問いに答えなさい。

(1) 仮定と結論を式で表しなさい。

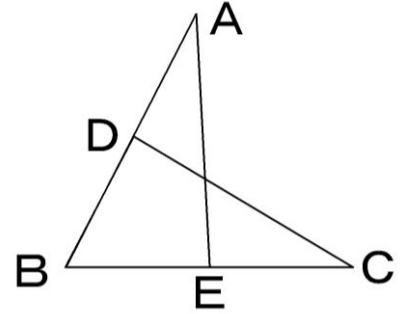
〔仮定〕 _____,

〔結論〕 _____

(2) 結論を導くためには, どの2つの三角形が合同であることを導けばよいか。

(3) $AE=CD$ となることを証明しなさい。

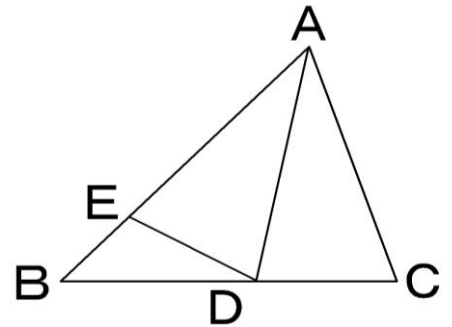
〔証明〕



実践問題1

右の図で, $AE=AC$, $\angle EAD=\angle CAD$ ならば, $ED=CD$ である。このことを証明しなさい。

〔証明〕

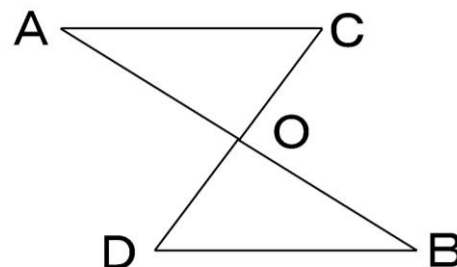


1 合同(9) 「完全証明」

※ リボンに注意！

例題2 右の図で、点Oが線分AB, CDのそれぞれの中点ならば、 $AC=BD$ である。このことを証明しなさい。

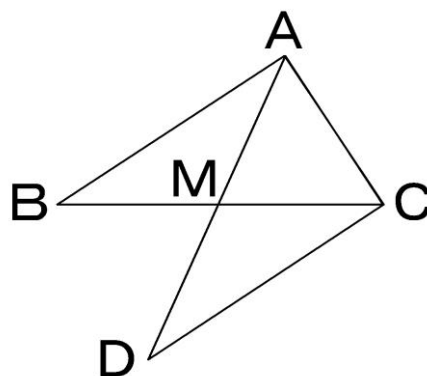
〔証明〕



実践問題2

右の図のように、 $\triangle ABC$ の辺BCの中点をMとし、AMの延長上に $AM=MD$ となるように点Dをとると $AB=DC$ である。このことを証明しなさい。

〔証明〕

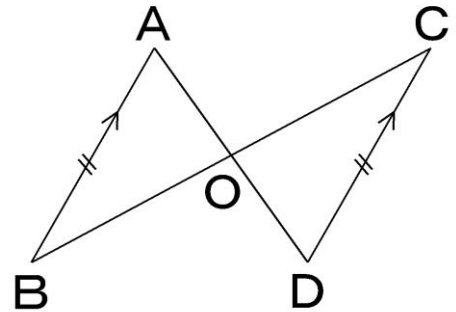


1 合同(10) 「完全証明」

※ 平行 → 錯角・同位角に注目！

例題3 右の図で、 $AB \parallel CD$ 、 $AB = CD$ ならば $AO = DO$ である。このことを証明しなさい。

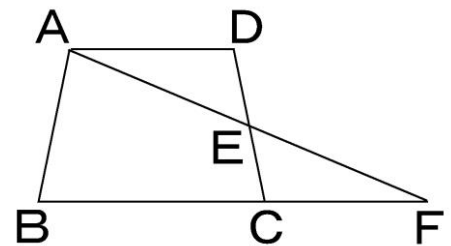
〔証明〕



実践問題3

右の図で、 $AD \parallel BC$ である台形 $ABCD$ において、辺 BC の延長上に $AD = FC$ となる点 F をとり、 AF と CD との交点を E とすると $DE = CE$ である。このことを証明しなさい。

〔証明〕

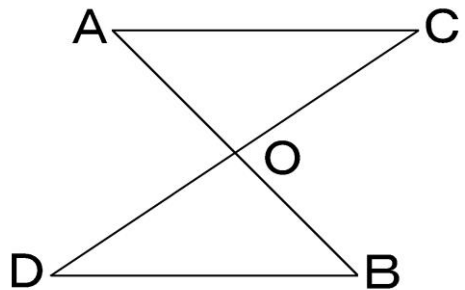


1 合同(11) 「完全証明」

※ 錯角・同位角が等しい → 2直線は平行！

例題4 右の図で、点Oが線分AB, CDの中点ならば $AC \parallel BD$ である。このことを証明しなさい。

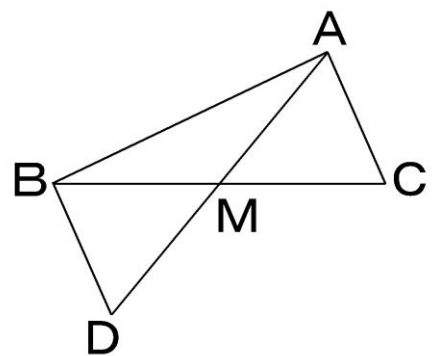
〔証明〕



実践問題4

右の図のように、 $\triangle ABC$ の辺BCの中点をMとし、線分AMの延長上に $AM = DM$ となるような点Dをとると、 $AC \parallel DB$ である。このことを証明しなさい。

〔証明〕

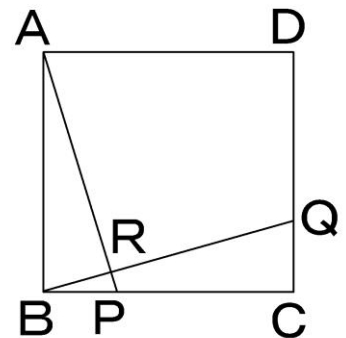


1 合同(12) 「完全証明」

※ 正方形は辺と角が等しいぞ！

例題5 右の図で、正方形ABCDの辺BC, CD上に、点P, Qを $BP=CQ$ となるようにとる。また、APとBQの交点をRとする。このとき、 $\triangle ABP \equiv \triangle BCQ$ を証明しなさい。

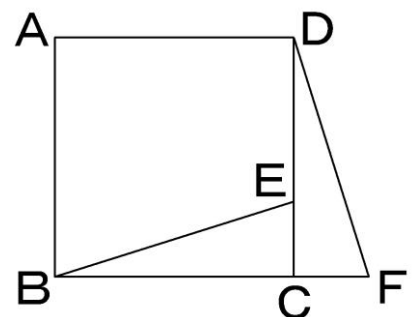
〔証明〕



実践問題5

右の図で、正方形ABCDの辺CD上に点Eをとり、辺BCの延長上に $CE=CF$ となる点Fをとる。このとき、 $\triangle BCE \equiv \triangle DCF$ を証明しなさい。

〔証明〕



2 二等辺三角形の性質(1)

攻略法 1

★ 定義, 性質をきちんと暗記しよう!

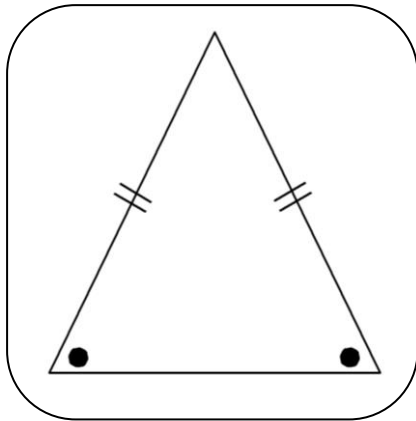
二等辺三角形の定義

2辺が等しい三角形

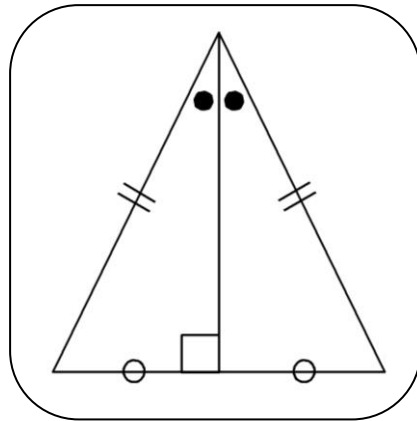
二等辺三角形の性質

- ① 二等辺三角形の底角は等しい
- ② 二等辺三角形の頂角の二等分線は底辺を垂直に2等分する。

①



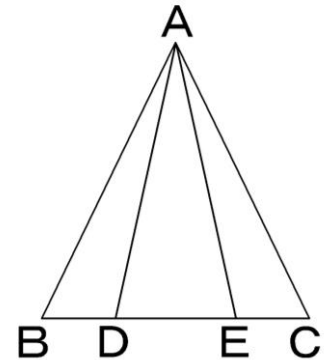
②



2 二等辺三角形の性質(2) 「部分証明」

実践問題1

右の図で、 $\triangle ABC$ は $AB=AC$ の二等辺三角形で、 $BD=CE$ である。
このとき、 $AD=AE$ であることを、次の□をうめて証明しなさい。



〔証明〕

$\triangle ADB$ と $\triangle AEC$ において、

仮定より、 $AB = \square$ ……①

仮定より、 $\square = CE$ ……②

二等辺三角形の□は等しいから、 $\angle B = \square$ ……③

①, ②, ③より、

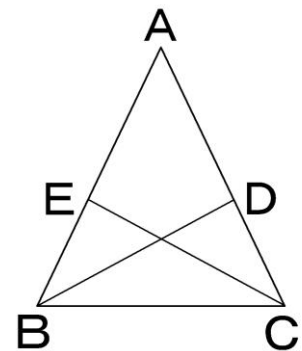
\square がそれぞれ等しいから、

$\triangle ADB \equiv \triangle AEC$

合同な三角形の対応する辺は等しいから、 $AD=AE$

実践問題2

$AB=AC$ である二等辺三角形で、底角 $\angle B$ 、 $\angle C$ の二等分線と辺 AC 、 AB との交点をそれぞれ D 、 E とすると、 $BD=CE$ である。これを次のように証明した。□にあてはまるものを入れなさい。



〔証明〕

$\triangle BDC$ と $\triangle CEB$ で、

共通だから、 $BC = \square$ ……①

二等辺三角形の□は等しいから、 $\angle DCB = \square$ ……②

二等辺三角形の底角を2等分した角は等しいから、 $\angle DBC = \square$ ……③

①, ②, ③より、

\square がそれぞれ等しいから、

$\triangle BDC \equiv \square$

合同な三角形の対応する辺は等しいから、 $BD = \square$

2 二等辺三角形の性質(3) 「部分証明」

実践問題3

二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺を垂直に2等分する。これを、 $AB=AC$ である二等辺三角形ABCについて、証明しなさい。

〔証明〕

$\angle A$ の二等分線と辺BCとの交点をDとする。

$\triangle ABD$ と $\triangle ACD$ において、

仮定より、 $AB =$ ①

だから、 $AD =$ ②

仮定より、 $\angle BAD =$ ③

①, ②, ③より、 がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ABD \equiv \triangle ACD$$

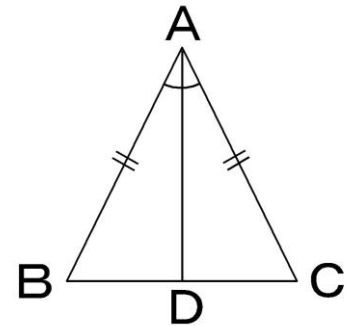
したがって、 $BD =$ ④

$\angle ADB =$ ⑤

また、 $\angle ADB +$ $= 180^\circ$ ⑥

⑤, ⑥より、 $\angle ADB = 90^\circ$ ⑦

④, ⑦より、二等辺三角形の頂角の二等分線は底辺を に する。



実践問題4

$AB=AC$ である二等辺三角形ABCで、頂角 $\angle A$ の二等分線と底辺BCとの交点をDとする。ADの延長上の点をEとすると、 $\triangle BDE \equiv \triangle CDE$ である。これを次のように証明した。にあてはまるものを入れなさい。

〔証明〕

$\triangle BDE$ と $\triangle CDE$ で、

共通だから、 $DE =$ ①

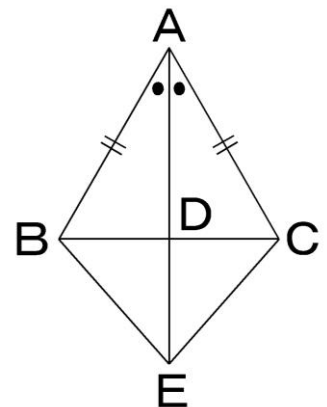
二等辺三角形の頂角の は、底辺を垂直に2等分するから、

$BD =$ ②

$=$ $= 90^\circ$ ③

①, ②, ③から、 がそれぞれ等しいから、

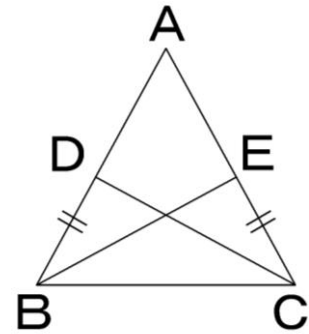
$$\triangle BDE \equiv \triangle CDE$$



2 二等辺三角形の性質(4) 「完全証明」

例題1 右の図で、 $AB=AC$ である二等辺三角形 ABC の2辺 AB 、 AC 上に
 $BD=CE$ となるように2点 D 、 E をとる。このとき、 $CD=BE$ であること
を証明しなさい。

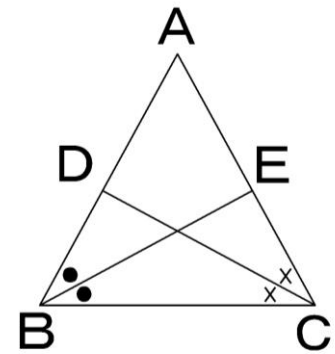
〔証明〕



実践問題1

右の図の、 $AB=AC$ である二等辺三角形 ABC で、 $\angle B$ 、 $\angle C$ の二等分
線をひき、辺 AB 、 AC と交わる点をそれぞれ D 、 E とすると、 $CD=BE$ で
あることを証明しなさい。

〔証明〕

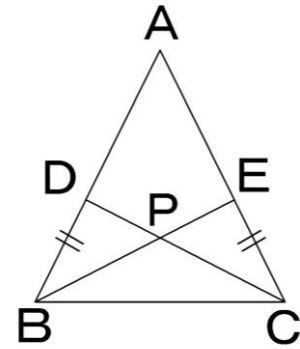


3 二等辺三角形になるための条件(1) 「部分証明」

攻略法1

2角が等しい三角形は二等辺三角形だ！

AB=ACである二等辺三角形ABCで、辺AB、AC上にそれぞれ点D、Eを、BD=CEとなるようにとる。BEとCDの交点をPとすると、△PBCは二等辺三角形である。これを次のように証明した。□をうめなさい。



〔証明〕

△DBCと □ で、

仮定より、BD= □ ……①

共通だから、BC= □ ……②

二等辺三角形の底角は等しいから、∠DBC= □ ……③

①、②、③より、

□ がそれぞれ等しいから、

△DBC≡ □

合同な三角形の対応する角は等しいから、

∠DCB= □

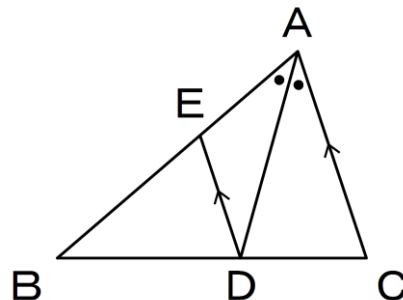
したがって、

△PBCは □ が等しいから、二等辺三角形である。

3 二等辺三角形になるための条件(2) 「完全証明」

例題1 右の図で, $AC \parallel ED$, AD は $\angle A$ の二等分線である。このとき, $\triangle AED$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。

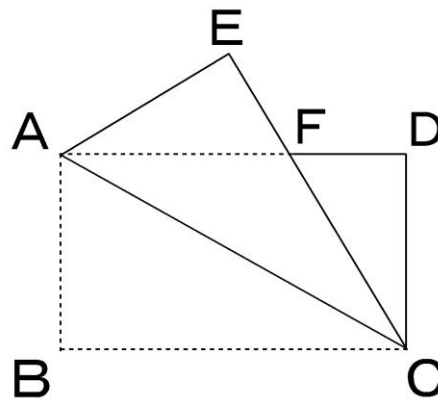
〔証明〕



実践問題1

次の図のように, 長方形ABCDをACを折り目として, BがEに重なるように折る。 $\triangle ACE \cong \triangle ACB$ となるこのとき, $\triangle FAC$ が二等辺三角形であることを証明しなさい。

〔証明〕

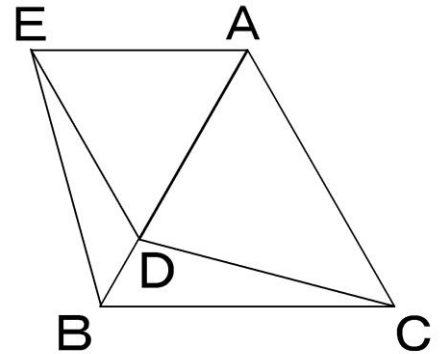


4 正三角形(1) 「部分証明」

攻略法1

正三角形は3辺の長さが等しく，3つの角の大きさが等しい。(60°)

正三角形ABCで，辺AB上の点をDとし，ADを1辺とする正三角形ADEを， $\triangle ABC$ の外側に作ると， $BE=CD$ である。これを次のように証明した。
を埋めなさい。



〔証明〕

$\triangle BEA$ と $\triangle CDA$ において，

$\triangle ABC$ は正三角形だから，

$$AB = \boxed{} \dots\dots ①$$

$\triangle ADE$ は正三角形だから，

$$AE = \boxed{} \dots\dots ②$$

$$\angle BAE = \boxed{} = \boxed{}^\circ \dots\dots ③$$

①，②，③より，

がそれぞれ等しいから，

$$\triangle BEA \equiv \boxed{}$$

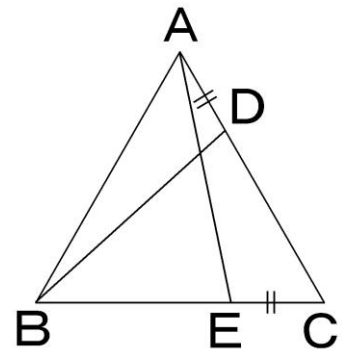
合同な三角形の対応する辺は等しいから，

$$BE = \boxed{}$$

4 正三角形(2) 「完全証明」

例題1 右の図で、正三角形ABCの2辺AC, BC上に、 $AD=CE$ となるような2点D, Eをとる。このとき、 $BD=AE$ となることを証明しなさい。

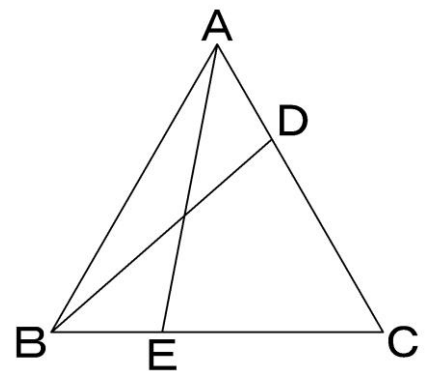
〔証明〕



実践問題1

右の図で、正三角形ABCの2辺AC, BC上に、 $\angle ABD = \angle BAE$ となるような2点D, Eをとる。このとき、 $BD=AE$ となることを証明しなさい。

〔証明〕

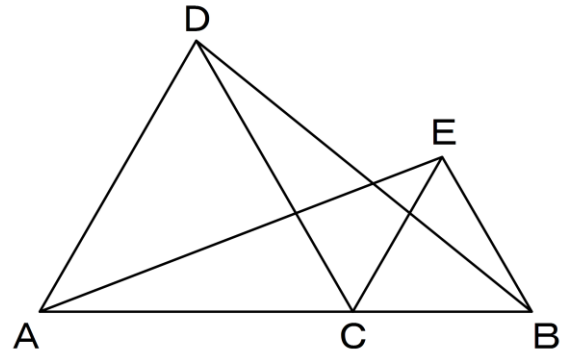


4 正三角形(3) 「部分証明」

攻略法2

60° + 共通角と表せる → 対応する角の大きさが等しい。

線分AB上に点Cをとり、AC、CBをそれぞれ1辺とする正三角形ACD、CBEを右図のようにつくと、AE=DBである。これを次のように証明した。□を埋めなさい。



〔証明〕

△ACEと△DCBにおいて、

△ACDは正三角形だから、

$$AC = \square \dots\dots ①$$

$$\triangle CBE \text{は正三角形だから、} CE = \square \dots\dots ②$$

$$\text{また、正三角形の角だから、} \angle ACD = \square = 60^\circ$$

$$\begin{aligned} \text{このとき、} \angle ACE &= \angle ACD + \square \\ &= 60^\circ + \square \dots\dots ③ \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \angle DCB &= \angle BCE + \square \\ &= 60^\circ + \square \dots\dots ④ \end{aligned}$$

$$\text{③、④より、} \angle ACE = \square \dots\dots ⑤$$

①、②、⑤より、

\square がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ACE \equiv \square$$

合同な三角形の対応する辺は等しいから、

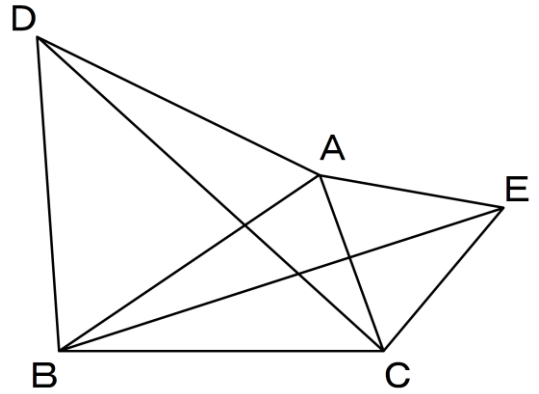
$$AE = \square$$

4 正三角形(4) 「完全証明」

実践問題2

$\triangle ABC$ の辺 AB , AC をそれぞれ1辺とする正三角形 ABD , ACE を右図のようにつくる。このとき, $BE=DC$ となることを証明しなさい。

[証明]



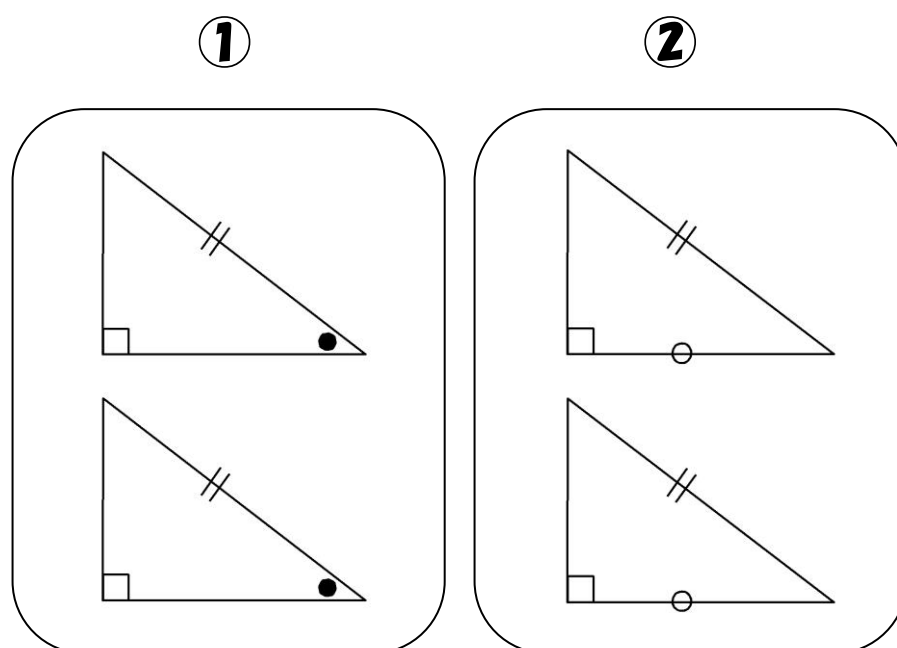
5 直角三角形の合同(1)

攻略法1

★ まず、合同条件をきちんと暗記しよう！

直角三角形の合同条件

- ① 直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい。
- ② 直角三角形の斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい。



攻略法2

- ① 直角三角形の合同を示すときは、まず「斜辺」が等しいかどうか確かめるとよい。斜辺が等しくない場合は、普通の三角形の合同条件を使う。
- ② 合同条件を書くとき「直角三角形」の言葉を絶対に忘れるな！

5 直角三角形の合同(2) 「部分証明」

実践問題1

AB=ACである二等辺三角形ABCで、辺BCの midpoint Mから、辺AB, ACにそれぞれ垂線MD, MEをひくと、MD=MEである。これを次のように証明した。□をうめなさい。

〔証明〕

△MDBと □ で、

仮定より、 $\angle BDM = \square = 90^\circ \dots\dots ①$

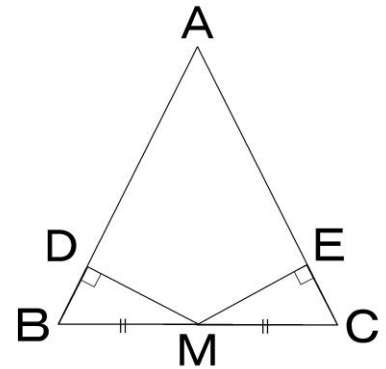
仮定より、 $BM = \square \dots\dots ②$

二等辺三角形の底角は等しいから、 $\angle DBM = \square \dots\dots ③$

①, ②, ③より、直角三角形の □ がそれぞれ等しいから、

$\triangle MDB \equiv \square$

合同な三角形の対応する辺は等しいから、 $MD = ME$



実践問題2

△ABCの頂点B, Cから辺AC, ABに垂線をひき、交点をそれぞれD, Eとする。BD=CEならば、△ABCは二等辺三角形である。これを次のように証明した。□にあてはまるものを入れなさい。

〔証明〕

△DBCと □ で、

仮定より、 $\angle BDC = \square = 90^\circ \dots\dots ①$

共通だから、 $BC = \square \dots\dots ②$

仮定より、 $BD = \square \dots\dots ③$

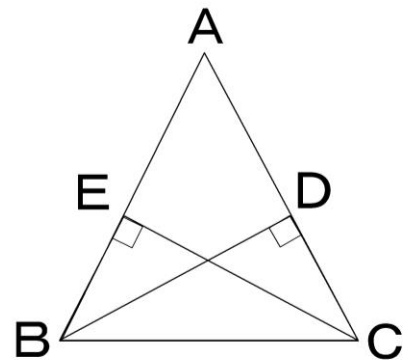
①, ②, ③から、

□ 三角形の □ がそれぞれ等しいから、

$\triangle DBC \equiv \square$

合同な三角形の対応する角は等しいから、 $\angle DCB = \square$

したがって、□ が等しいから、△ABCは二等辺三角形である。



5 直角三角形の合同 (3) 「部分証明」

実践問題3

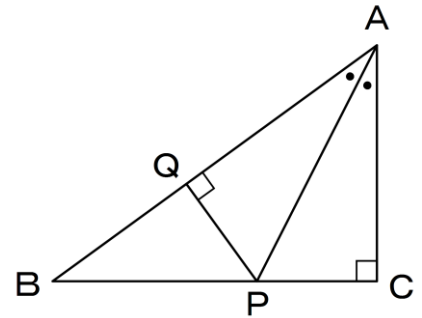
$\angle C=90^\circ$ である直角三角形ABCで、 $\angle A$ の二等分線と辺BCとの交点をPとする。Pから辺ABに垂線をひき、交点をQとすると、 $QP=CP$ である。これを次のように証明した。□にあてはまるものを入れなさい。

〔証明〕

$\triangle QPA$ と □ において、
 仮定より、 □ = □ = 90° ……①
 共通だから、 $AP =$ □ ……②
 仮定より、 $\angle QAP =$ □ ……③

①, ②, ③より、

□ の □ がそれぞれ等しいから、
 $\triangle QPA \equiv$ □
 合同な三角形の対応する □ は等しいから、 $QP=CP$



実践問題4

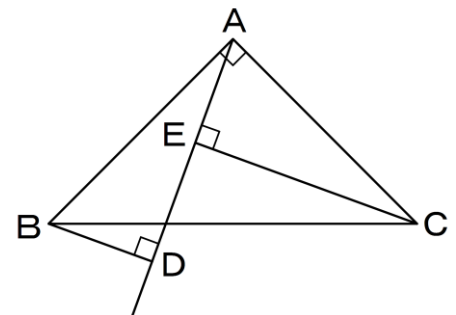
$\angle A=90^\circ$ である直角二等辺三角形ABCで、頂点Aを通る直線に、頂点B, Cから垂線をひき、交点をそれぞれD, Eとすると、 $BD=AE$ である。これを右の図について、次のように証明した。□にあてはまるものを入れなさい。

〔証明〕

$\triangle BDA$ と □ において、
 仮定より、 $\angle ADB =$ □ = 90° ……①
 仮定より、 $AB =$ □ ……②
 $\angle BAC=90^\circ$ だから、 $\angle BAD=90^\circ - \angle EAC$ ……③
 $\triangle CAE$ で $\angle CEA=90^\circ$ だから、 $\angle ACE=90^\circ -$ □ ……④
 ③, ④から、 $\angle BAD =$ □ ……⑤

①, ②, ⑤から、

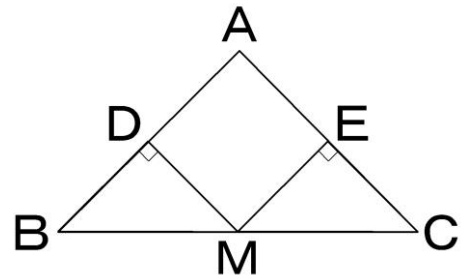
□ の □ がそれぞれ等しいから、
 $\triangle BDA \equiv$ □
 合同な三角形の対応する辺は等しいから、 $BD =$ □



5 直角三角形の合同(4) 「完全証明」

例題1 右の図で、 $\triangle ABC$ の辺BCの midpoint Mから、辺AB, ACに垂線をひき、その交点をそれぞれD, Eとする。このとき、 $MD=ME$ ならば、 $\triangle ABC$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。

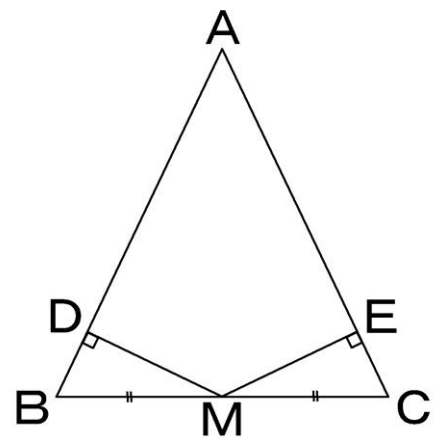
〔証明〕



実践問題1

右の図で点Mは $\triangle ABC$ の辺BCの midpointであり、点D, Eは、それぞれ点Mから辺AB, ACにひいた垂線とAB, ACとの交点である。このとき、 $\angle BMD = \angle CME$ ならば、 $\triangle ABC$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。

〔証明〕

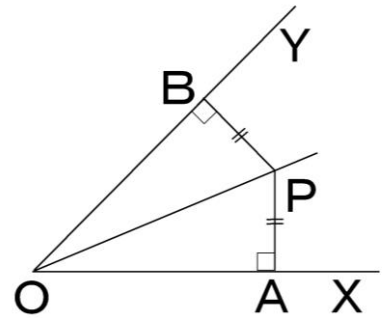


5 直角三角形の合同(5) 「完全証明」

※ 点と線分の距離が等しい \implies ①垂直 ②線分の長さが等しい

例題2 角の2辺からの距離が等しい点は、その角の二等分線上にあることを、右の図を使って証明しなさい。

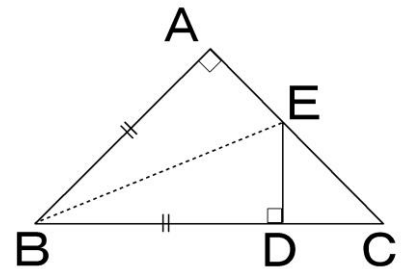
〔証明〕



実践問題2 ※ 直角二等辺三角形の底角は 45°

$\angle A = 90^\circ$ である直角二等辺三角形ABCで、底辺BC上に点Dを $BA = BD$ となるようにとる。また、点Dを通り辺BCに垂直な直線をひき、ACとの交点をEとする。このとき、 $AE = DE = DC$ であることを証明しなさい。

〔証明〕

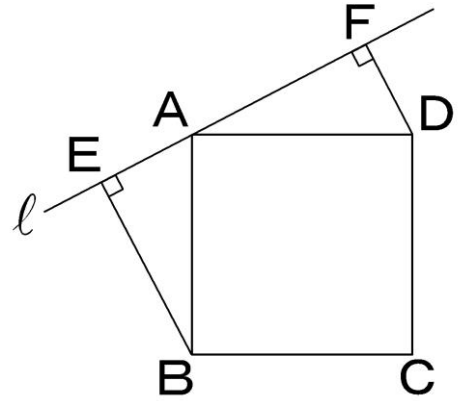


5 直角三角形の合同(6) 「完全証明」

※ 90° - 共通角と表せる \Rightarrow 対応する角の大きさが等しい。

例題3 右の図のように、正方形ABCDの頂点Aを通る直線 l に、B, Dから垂線をひき、その交点をE, Fとする。このとき、 $AE=DF$ であることを証明しなさい。

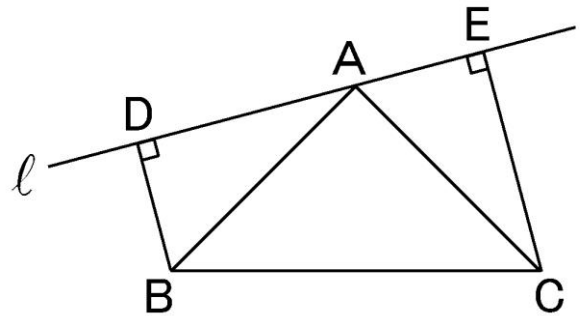
〔証明〕



実践問題3

右の図のように、直角二等辺三角形ABCの頂点Aを通る直線 l に、B, Cから垂線をひき、その交点をD, Eとする。このとき、 $AD=CE$ であることを証明しなさい。

〔証明〕



6 平行四辺形の性質(1) 「部分証明」

攻略法1

★ 平行四辺形の定義・性質をきちんと覚えよう！

| | | |
|----|----------------------|--|
| 定義 | 2組の対辺がそれぞれ平行 | |
| 性質 | ① 2組の対辺はそれぞれ等しい | |
| | ② 2組の対角はそれぞれ等しい | |
| | ③ 2つの対角線はそれぞれの中点で交わる | |

攻略法2

平行四辺形は平行線の組み合わせだということも忘れるな！

※ 性質はすべて定義から導きだされる。要するに性質は定義の子供だ！

定義 → 性質1の証明

「2組の対辺はそれぞれ等しい」を次の□をうめて証明しなさい。

〔仮定〕 $AB \parallel DC, BC \parallel AD$

〔結論〕 $AB = CD, BC = DA$

〔証明〕 対角線ACをひく。

$\triangle ABC$ と □ で、

平行線の錯角は等しいから、 $\angle BAC =$ □ ...

$\angle ACB =$ □ ...

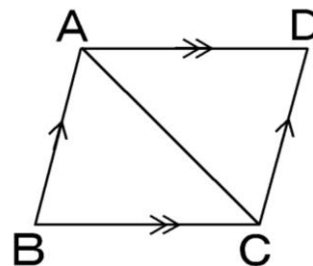
共通な辺だから、 $AC =$ □③

①, ②, ③から、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから、

$\triangle ABC \equiv$ □

合同な三角形の対応する辺は等しいから、 $AB =$ □ , $BC =$ □

したがって、平行四辺形の □ はそれぞれ等しい。



6 平行四辺形の性質(2) 「部分証明」

定義 → 性質2の証明 ●他のやり方もある。

方法①

定理「平行四辺形の2組の対角はそれぞれ等しい」を、次の□をうめて証明しなさい。

〔仮定〕 $AB \parallel DC, BC \parallel AD$ 〔結論〕 $\angle A = \angle C, \angle B = \angle D$

〔証明〕 対角線BDをひく。

$\triangle ABD$ と $\triangle CDB$ で、

平行線の錯角は等しいから、 $\angle ADB = \square$ ①

$\angle ABD = \square$ ②

共通な辺だから、 $BD = \square$ ③

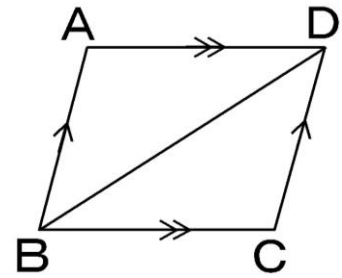
①, ②, ③から、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから、

$\triangle ABD \equiv \square$

合同な三角形の対応する角は等しいから、 $\angle A = \angle C$ ④

次に対角線ACをひき、同様にして $\angle B = \angle D$ ⑤

④, ⑤より、平行四辺形の \square はそれぞれ等しい。



方法②

$\square ABCD$ で、 $\angle A = \angle C, \angle B = \angle D$ であることを次のように証明した。
□にあてはまるものを入れなさい。

〔証明〕 $\square ABCD$ の辺ABを延長して点Eをとる。

平行線の同位角は等しいから、 $AD \parallel BC$ から、

$\angle A = \square$ ①

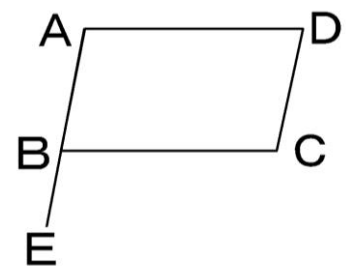
平行線の錯角は等しいから、 $AB \parallel DC$ から、 $\square = \angle C$ ②

①, ②より、 $\angle A = \square$ ③

同様にして、 $\square = \square$ ④

③, ④より、

平行四辺形の \square はそれぞれ等しい。



6 平行四辺形の性質(3) 「部分証明」

定義 → 性質3の証明

□ABCDで、対角線の交点をOとすると、 $OA=OC$ 、 $OB=OD$ であることを次のように証明した。□にあてはまるものを入れなさい。

〔証明〕

△ABCと△CDAにおいて、

平行線の錯角は等しいから、

$$AB//CDより、\angle BAC = \square \dots\dots ①$$

$$BC//ADより、\angle BCA = \square \dots\dots ②$$

$$\text{共通だから、} AC = \square \dots\dots ③$$

①、②、③より、

1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ABC \equiv \square$$

$$\text{したがって、} AB = \square \dots\dots ④$$

また、△ABOと△CDOで、平行線の錯角は等しいから、

$$AB//DCから、\angle ABO = \square \dots\dots ⑤$$

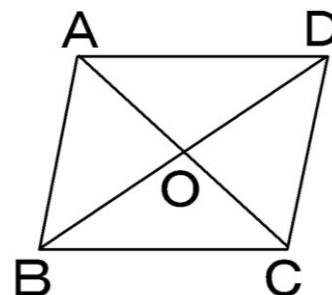
$$\angle BAO = \square \dots\dots ⑥$$

④、⑤、⑥より、

1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから、

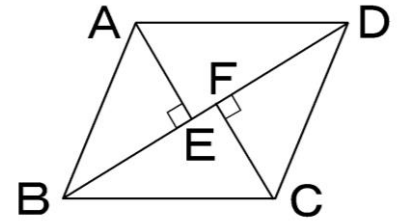
$$\triangle ABO \equiv \square$$

したがって、 $OA=OC$ 、 $OB=OD$ となる。



6 平行四辺形の性質(4) 「部分証明」

例題1 右の図のように、 $\square ABCD$ の頂点A, Cから対角線BDに垂線AE, CFをひいたとき、 $AE=CF$ となることを証明しなさい。



〔証明〕

$\triangle ABE$ と $\triangle CDF$ において、

仮定より、 $\angle AEB = \square = 90^\circ \dots\dots ①$

$AB \parallel CD$ より、錯角は等しいから、 $\angle ABE = \square \dots\dots ②$

\square は等しいから、

$AB = \square \dots\dots ③$

①, ②, ③より、

\square がそれぞれ等しいから、

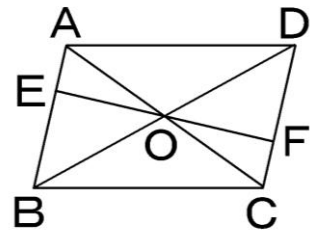
$\triangle ABE \equiv \square$

合同な三角形の対応する \square は等しいから、

$AE = \square$

実践問題1

$\square ABCD$ で、対角線の交点Oを通る直線が辺AB, DCと交わる点をそれぞれE, Fとすると、 $AE=CF$ である。これを証明しなさい。



〔証明〕

$\triangle AOE$ と $\triangle COF$ において、

平行四辺形の \square から、

$AO = \square \dots\dots ①$

\square は等しいから、 $\angle AOE = \square \dots\dots ②$

$AB \parallel DC$ から、 \square は等しいから、 $\angle EAO = \square \dots\dots ③$

①, ②, ③より、 \square がそれぞれ等しいから、

$\triangle AOE \equiv \square$

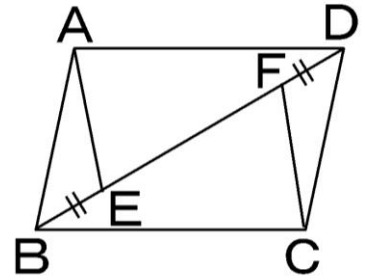
合同な三角形の対応する \square は等しいから、 $AE = \square$ となる。

6 平行四辺形の性質(5) 「完全証明」

実践問題2

右の図のように、 $\square ABCD$ の対角線BD上に、 $BE=DF$ となるような点E, Fをとるとき、 $AE=CF$ であることを証明しなさい。

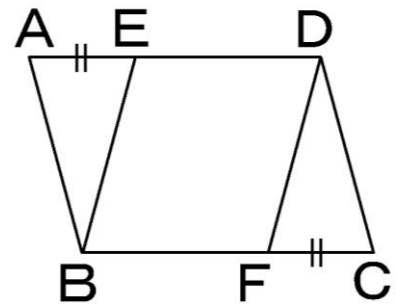
〔証明〕



実践問題3

$\square ABCD$ で辺AD, BC上に、それぞれ点E, Fを $AE=CF$ となるようにとると、 $BE=DF$ であることを証明しなさい。

〔証明〕

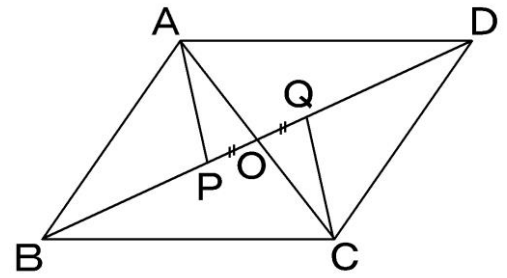


6 平行四辺形の性質(6) 「完全証明」

実践問題4

右の図のように、 $\square ABCD$ の対角線BD上に、 $OP=OQ$ となるように2点P, Qをとるとき、 $AP=CQ$ であることを証明しなさい。

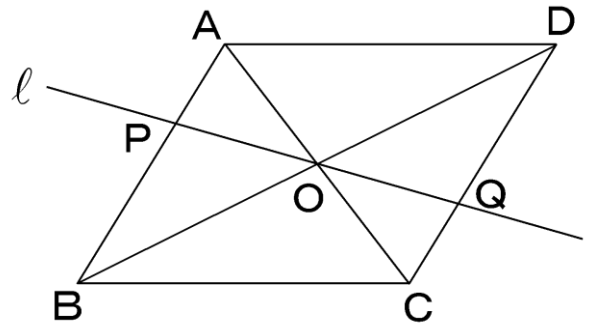
〔証明〕



実践問題5

右の図のように、 $\square ABCD$ の対角線の交点Oを通る直線 l をひき、辺AB, CDとの交点をP, Qとすると、 $OP=OQ$ であることを証明しなさい。

〔証明〕

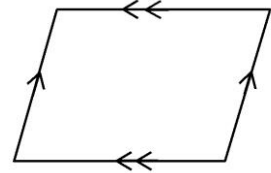


7 平行四辺形になるための条件(1)

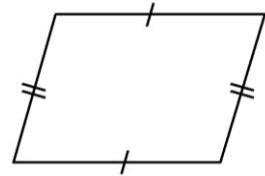
攻略法1

★ 四角形は次のどれかが成り立つとき平行四辺形である。

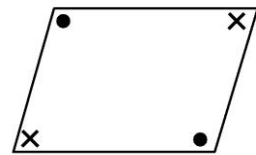
- ① 2組の対辺がそれぞれ平行である。・・・定義



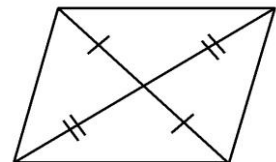
- ② 2組の対辺がそれぞれ等しい。



- ③ 2組の対角がそれぞれ等しい。

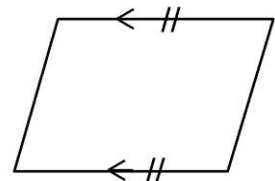


- ④ 2つの対角線がそれぞれの中点で交わる。



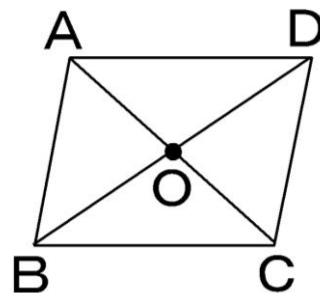
- ⑤ 1組の対辺が平行で長さが等しい。・・・新顔

(性質に含まれないのはこれだけ！)



7 平行四辺形になるための条件(2) 「部分証明」

例題1 右の図で、 $\triangle AOB \equiv \triangle COD$ ならば、四角形ABCDは平行四辺形になることを、次の□をうめて証明しなさい。



〔証明〕

$\triangle AOB \equiv \triangle COD$ だから、

AO = □

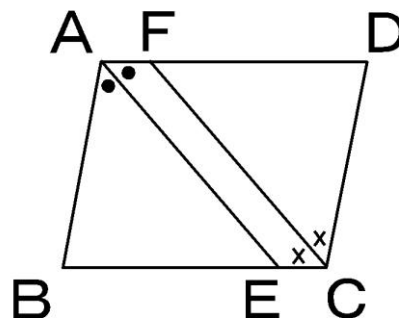
BO = □

□ がそれぞれの □ で交わるから、

四角形ABCDは平行四辺形である。

実践問題1

□ABCDで、 $\angle A$ 、 $\angle C$ の二等分線と辺BC、ADとの交点をそれぞれE、Fとすると、四角形AECFは平行四辺形である。これを次のように証明した。□にあてはまるものを入れなさい。



〔証明〕

四角形AECFで、

平行四辺形の性質より、 $AF \parallel$ □ ……①

仮定より、 $\angle FAE = \frac{1}{2} \angle BAD$ ……②

仮定より、 $\angle FCE = \frac{1}{2}$ □ ……③

平行四辺形の □ は等しいから、 $\angle BAD =$ □ ……④

②、③、④から、 $\angle FAE =$ □ ……⑤

平行線の錯角は等しいから、 $\angle FAE =$ □ ……⑥

⑤、⑥から、 $\angle FCE =$ □

□ 角が等しいから、 $AE \parallel$ □ ……⑦

①、⑦から、□ だから、

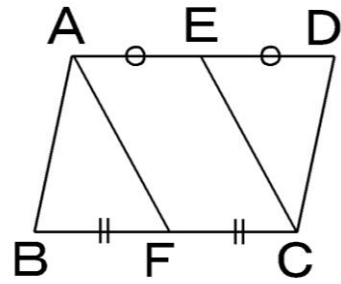
四角形AECFは平行四辺形である。

7 平行四辺形になるための条件(3) 「完全証明」

実践問題2

□ $ABCD$ で、辺 AD , BC の midpoint をそれぞれ E , F とすると、四角形 $AFCE$ は平行四辺形である。これを証明しなさい。

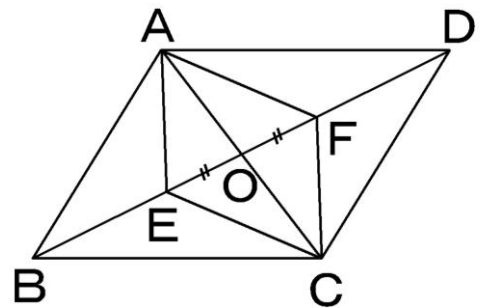
〔証明〕



実践問題3

□ $ABCD$ で、対角線の交点を O とし、対角線 BD 上に $OE=OF$ となる2点 E , F をとるとき、四角形 $AECF$ は平行四辺形である。これを証明しなさい。

〔証明〕

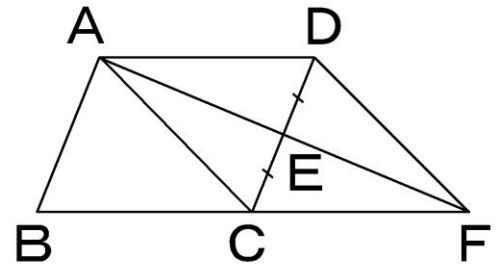


7 平行四辺形になるための条件(4) 「完全証明」

実践問題4

□ ABCDで、辺DCの中点をEとする。AEの延長とBCの延長との交点をFとすると、四角形ACFDは平行四辺形である。これを証明しなさい。

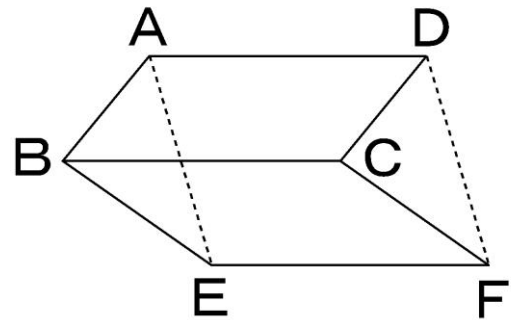
〔証明〕



実践問題5

四角形ABCD, BEFCはともに平行四辺形である。四角形AEFDも平行四辺形であることを証明しなさい。

〔証明〕



8 特別な平行四辺形(1)

攻略法1

★ 四角形が長方形・ひし形・正方形になるためには定義が満たされればよい。

定義

1. 長方形・・・4つの角が等しい四角形
2. ひし形・・・4つの辺が等しい四角形
3. 正方形・・・4つの辺が等しく、4つの角が等しい四角形

攻略法2

★ 平行四辺形が長方形・ひし形・正方形になるためには以下の条件のうち1つが満たされればよい。(正方形は2つ)

1. 長方形・・・① 対角線の長さが等しい
② となり合う角が等しい(1つの角が直角)
2. ひし形・・・③ 対角線が垂直に交わる(直交する)
④ となり合う辺が等しい
3. 正方形・・・①, ②のうち1つと③, ④のうち1つ

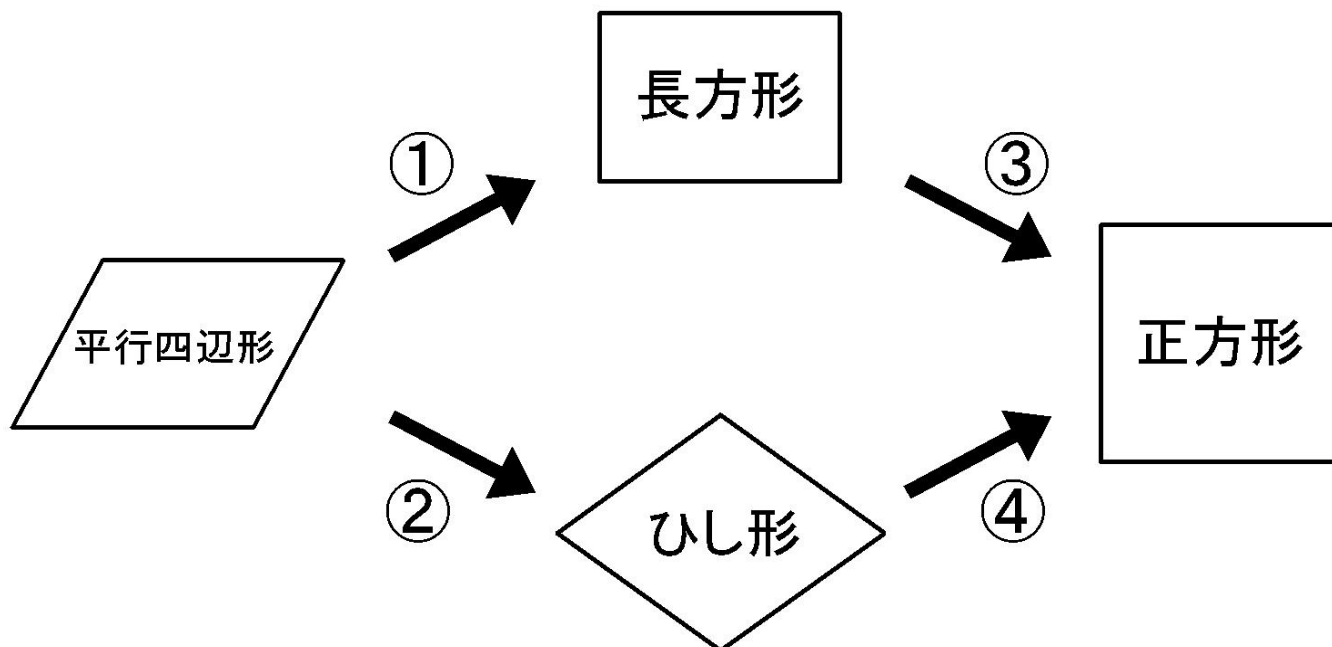
攻略法3

長方形・ひし形・正方形は平行四辺形だから、平行四辺形の性質も使える!

8 特別な平行四辺形(2)

実践問題

下図は、平行四辺形に条件を加えて、特別な四角形にしていくようすを示したものである。①～④にあてはまるものを、次のア～エから2つずつ選び、記号で答えなさい。



ア となり合う辺が等しい。
しい。

イ となり合う角が等しい。

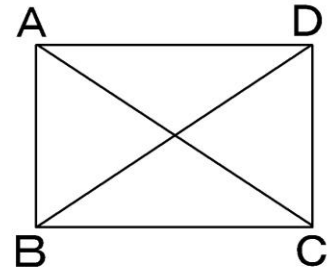
ウ 対角線の長さが等しい。
る。

エ 対角線が垂直に交わる。

答 ① _____ ② _____
③ _____ ④ _____

8 特別な平行四辺形(3) 「部分証明」

例題1 「長方形の対角線は等しい。」このことを、右の図の長方形ABCDで証明しなさい。



[証明]

$\triangle ABC$ と $\triangle DCB$ において、

平行四辺形の対辺は等しいから、 $AB =$

共通だから、 $BC =$ ②

長方形の定義より、 $\angle ABC =$ $= 90^\circ$ ③

①, ②, ③より、

がそれぞれ等しいから、

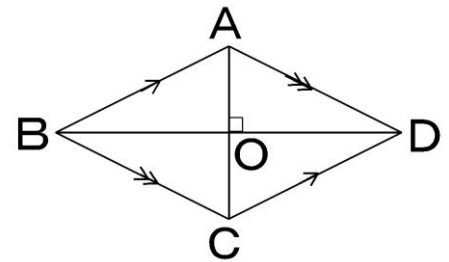
$$\triangle ABC \equiv \triangle DCB$$

合同な三角形の対応する辺は等しいから、 $AC =$

したがって、長方形の対角線は等しい。

実践問題1

「対角線が垂直に交わる平行四辺形はひし形である。」このことを証明しなさい。



[証明]

$\triangle ABO$ と $\triangle ADO$ において、

平行四辺形の は、それぞれの

$BO =$ ①

共通だから、 $AO =$ ②

仮定より、 $\angle AOB =$ $= 90^\circ$ ③

①, ②, ③より、

がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ABO \equiv \triangle ADO$$

合同な三角形の対応する辺は等しいから、 $AB =$ ④

また、平行四辺形の は等しいから、 $AB =$ ⑤

$BC =$ ⑥

④, ⑤, ⑥より、 $AB = BC = CD = DA$ となり、四辺が等しいから、ひし形となる。

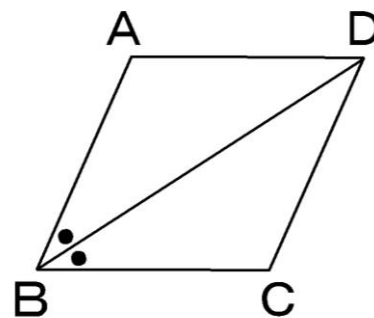
したがって、対角線が に交わる はひし形である。

8 特別な平行四辺形(4) 「完全証明」

実践問題 2

次の $\square ABCD$ で、対角線 BD が、 $\angle ABC$ を2等分するとき、この $\square ABCD$ は、ひし形になることを証明しなさい。

〔証明〕

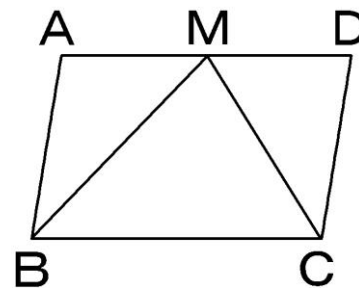


実践問題 3

※ 平行四辺形のとなり合う角の和は 180° となる。

$\square ABCD$ の辺 AD の中点を M とするとき、 $MB=MC$ ならば、 $\square ABCD$ は長方形になることを証明しなさい。

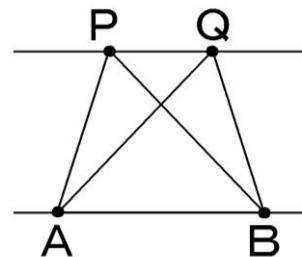
〔証明〕



9 平行線と面積(1) 「部分証明」

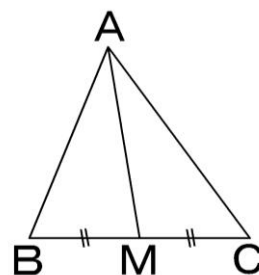
攻略法1

直線上の2点A, Bと同じ側にある2点P, Qについて, $PQ \parallel AB$ ならば, $\triangle PAB = \triangle QAB$ となる。(面積が等しい)



攻略法2

$\triangle ABM$ と $\triangle ACM$ の面積は等しい。



※ **攻略法1**, **攻略法2**の2つの三角形は,
ともに底辺・高さが等しくなる。

例題1 四角形ABCDで, 点Dを通り, 対角線ACと平行な直線をひき, 辺BCの延長との交点をEとすると, $\triangle ABE$ の面積が四角形ABCDの面積と等しくなる。そのわけを証明しなさい。

※注意
= (イコール) は面積が等しいことを表す。

[証明]

DE // だから,

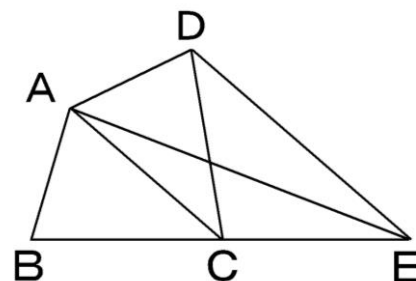
$$\triangle EAC = \text{} \dots\dots ①$$

また, $\triangle ABE = \triangle ABC + \text{} \dots\dots ②$

四角形ABCD = $\triangle ABC + \text{} \dots\dots ③$

①, ②, ③より,

$$\triangle ABE = \text{四角形ABCD}$$

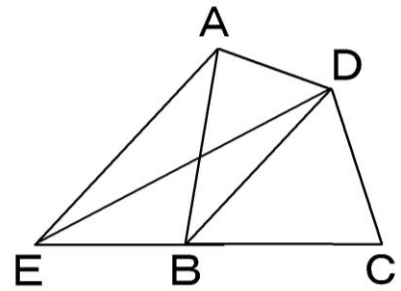


9 平行線と面積(2) 「完全証明」

実践問題1

右の図で、 $AE \parallel DB$ ならば、四角形 $ABCD = \triangle DEC$ であることを証明しなさい。

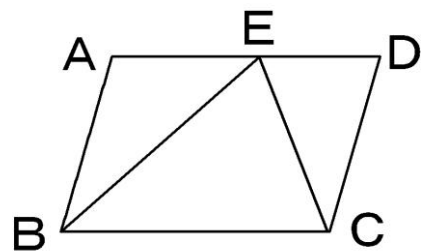
〔証明〕



実践問題2

$\square ABCD$ で、点Eが辺AD上にあるとき、 $\triangle BEC = \frac{1}{2} \square ABCD$ なることを証明しなさい。

〔証明〕



覚えておこう!!

平行四辺形は対角線の中点（交点）を通る直線で面積が二等分される。したがって、対角線で平行四辺形の面積は必ず二等分される。